

No.
226

2023
SUMMER

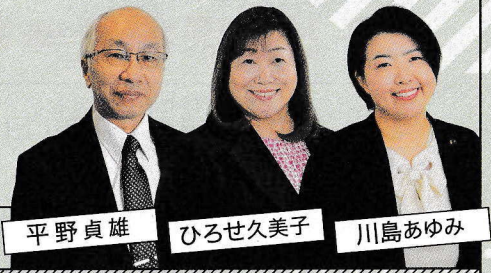
JCP Ashiya City council report

日本共産党

芦屋市議団

news

新たな気持ちで
市政に全力!



2023年 夏号 発行 ● 日本共産党芦屋市議会議員団
住所: 〒659-8501 芦屋市精道町7番6号 電話: 0797-38-2047 (FAX兼) Eメール: a-jcp@helen.ocn.ne.jp

高島新市長に

市政運営について申し入れ

日本共産党芦屋市議団は、新市政のスタートにあたって、市民の願いが実現する市政運営を求めて、地方選直後の5月に高島新市長へ以下の6項目について申し入れを行い、懇談しました。(ひらの)

- 1 「国民主権」「平和主義」「基本的人権」を謳う憲法が政治の大前提であり、**市政を通して憲法理念の実現をめざすこと。**
- 2 公的責任を後退させる新自由主義の「自助・共助・公助」論から抜け出し、自治体の責務である「**住民の福祉の増進**」(地方自治法第1条の2)をあらゆる方針、施策の中心に明確に据えること。
- 3 行政力を後退させ、市民サービスの低下につながる「**公務の外注化**」に歯止めをかけ、民間委託の見直し、会計年度任用職員の原則フルタイム化、必要な職員配置など公的責任を果たし得る体制を構築すること。
- 4 コロナ禍による暮らしと営業への打撃に物価高騰が追い打ちをかけ、貧困と格差の拡大を加速・深化させており、**市民生活を守る「防波堤」の役割を果たし得る施策を具体化、推進すること。**

- 5 主権者は市民であり「**市民こそ主人公**」を市政全体で貫き、市長自身が身をもって体现すること。

- 6 地方行政の前提となる理念である「**地方自治**」は、「**住民自治**」とともに国との関係における「**団体自治**」がその基本的柱であり、その立場を貫くこと。



市民の願いが
実現する市政を!



芦屋市議会では、4月の選挙後初めての定例会である6月議会(6月9日~30日)が開催されました。

今期の日本共産党芦屋市議団は、団長をひろせ久美子議員が担います。また、議会の中では建設公営企業常任委員会の委員長と、議会運営委員会の副委員長を川島あゆみ議員が務めます。

議員団で
力を合わせて、
社会へ!
安心して暮らせる

Kumiko
Hirose



新しい議会の会派構成(2023.5~)

日本共産党	●川島、平野、ひろせ
あしや政風会(自民系)	岩岡、川上、原、●福井(利)、福井(美)
公明党	帰山、●田原、西村
日本維新の会	●浅海、大原、橋本
至誠会	●寺前、中島、西崎
芦屋しみの未来	●たかおか、中村
会派に属さない議員	長谷、山口

※敬称略 ※●は各会派の幹事長

JR 芦屋駅
南地区
再開発

積み重ねを大切にしたいまちづくりを



駅舎の改修と共に
住宅等の解体も始まった再開発エリア

市長は再開発事業において、①緑、②集える、③歩ける、④未来志向、⑤地権者の生活を守る、という事業の見直しのための「5原則」を突然発表し、市ホームページ上で広く意見募集を始まりました(7月31日まで)。

しかし、市長が選挙中に公約と

ん。市長からも6月の一般質問の中で「**大きな変更は難しい**」と認める答弁がありました。

市民との対話を大切にする市長の姿勢そのものは評価していますが、この再開発事業については、すでに議論等が積み重ねられてきました。意見を取り入れることができるタイミングや意見集約の方法は、見極めが必要だと思います。何より、事業の渦中にいる地権者こそ、まずは対話すべきだったと考えています。(かわしま)

「5原則」の内容はコチラ▶



説明会

Date / 8月23日(水) 18時10分~
Place / 市民センター206室
6月議会のご報告です。お気軽におこしください。

相談会

Date / 8月21日(月) 18時~
Place / 市民センター208室

濱本由弁護士が同席します。
できれば議員に電話でご予約を(当日受付は19時まで)

一般質問のテーマ

●子ども医療費無料制度が来年7月に前進

去 年の12月議会でも取り上げた「子ども医療費無料制度」が、**2024年7月を目標に拡充される方向性である**ことが分かりました！市当局は、具体的な拡充の中身は現在検討中としていますが、将来的に目指す方向は「18歳（高校卒業）まで、所得制限なし」であることも質問を通じて確認できました。

制度を18歳（高校卒業）まで広げることで、高校生が自らの健康に気を配り、親の負担を気にせず安心して医療を受けられるというメリットがあります。また、所得制限の廃止は、**子どもが権利の主体であり、どの子も社会で育てるという観点からも必要だと**考えています。引き続き、早期実現に向けて頑張ります！

建設公営企業
常任委員

name : 川島あゆみ

TEL / 070(5037)9134

E-mail / kawashima.ayumi.san.1453@gmail.com

Ayumi
Kawashima民生文教
常任委員

name : ひろせ久美子

TEL / 090(1951)0724

E-mail / kumikuma-50@zeus.eonet.ne.jp

Kumiko
Hirose

●問題点が噴出！マイナンバーカード
●学校給食費の無償化を

マ イナンバーカードと健康保険証の一体化を、政府は国民や医療現場の反対の声も無視して進めようとしています。保険証の廃止はやめるよう、芦屋市として国に声を上げてほしいと求めました。**また便利だけを謳（うた）うのではなく、伴うリスクや、カードは返却できることも市民に知らせるべきです。**市当局も危機感を持っており、国に声を上げる準備はあると答えました。学校給食の無償化は、国が「こども未来戦略」で方針を立てているので動向をみるという答弁でしたが、**早期実現のためにも芦屋から実施し、国を動かすよう求めました。**いずれも、地方自治や市民生活を最優先にすることを念頭に質問しました。



●地方自治体の長として憲法堅持の姿勢を

高 島新市長に憲法99条（尊重・擁護義務）、97条（自由獲得の努力の成果）、12条（国民の不断の努力）等憲法への姿勢を質しました。高島市長からは「**国民主権、基本的人権の尊重、平和主義は、平和と民主主義を願う国民の不断の努力によって守り続けられてきたものであり、これを堅持する姿勢をもって、今後の市政運営に取り組みます**」との答弁がありました。「市役所と市民の真ん中に立つ」との市長のことばについて、「市長は行政のトップ、自治体のトップに立って責任を担うのであり、真ん中＝間（あいだ）はそぐわないのではないか」と指摘し、今後のわかりやすい発信を求めました。

Sadao
Hirano総務
常任委員

name : 平野貞雄

TEL / 0797(22)0248

E-mail / hirano4@nifty.com

全ての請願で紹介議員として奮闘！

6月議会には市民団体から3件の請願が提出されました。**日本共産党として全ての請願で紹介議員となり、提出者の思いを代弁するために委員会委員からの質問に答えました。**残念ながら請願2件は賛成少数で不採択となりましたが、1件は採択されました（各請願の主旨は右表の通り）。なお、陳情2件のうち、保育士の配置基準の見直し等を求める陳情も全会一致で採択となり、市議会から国に意見書が提出されました。（ひろせ）

請願の
詳しい中身はコチラ▶

意見書はコチラ▶



請願への各会派・議員の態度

	共産 3	政風 会 5	公明 2 ※	維新 3	至誠 会 3	未来 2	長谷	山口
「キッチンカフェなりひら」の 営業継続	○	×	×	×	×	○	○	○
インボイス制度の実施延期	○	×	×	×	×	○	○	○
学校体育館の 空調・感染対策設備設置	○	○	○	○	○	○	○	○

※敬称略 ※帰山議員は議長のため採決に加わらず

編集後記

異常気象とも言える暑さですが、議員にとっては大切な学びの夏です。議員団として「全国自治体学校※」に参加する他、芦屋市議会では議員研修会が開催され、講師を招いて全議員で「選択的夫婦

別姓」をテーマに学ぶことになりました。国の政治をより良くするために、地方議会からも声をあげていくことが大切だと感じています。（かわしま）

※自治体問題研究所主催